



2020年5月15日

各 位

株 式 会 社 山 口 フ ィ ナ ン シ ャ ル グ ル ー プ

グループガバナンス体制の見直しについて

山口フィナンシャルグループ（社長 吉村 猛）は、下記のとおり、グループガバナンス体制を見直すこととしましたのでお知らせします。

記

1. 背景

我々地域金融機関を取り巻く外部環境は、地域社会における人口減少、高齢化、中小企業の後継者不足などの社会課題が一層顕著化してきており、加えてマイナス金利の長期化、デジタル技術の発展やそれらを利用した新たな金融サービスの増加が見られるなど、大きな変化が生じています。

また、SDGs（持続的な開発目標）やSociety5.0の高まりといった流れを受けて、我々地域金融機関とともにある地域社会においても、長期的に持続可能で多様性と包摂性ある社会・経済システムを構築していく必要があると考えております。

これらの環境を踏まえ、当社は中期経営計画において、「地域共創モデルの確立」と「金融モデルの“SHINKA”」を通じて、地域における多元的なマルチステークホルダーを巻き込みながら、金融の枠を超え、「地域価値向上会社」へ転換することを標榜しています。

今年度は計画期間の2年目として、昨年から取り組む2つの事業モデルの更なる磨き上げを行い、地域価値向上会社への転換をさらに強力に推し進めるため、グループガバナンス体制の見直しを行うこととしました。

2. 見直し概要

(1) 取締役会の強化・多様化

- 地域価値向上会社として「企業価値向上」につながる事業構造への変革を図るため、社内取締役を中心としたメンバー構成を見直し、取締役会のダイバーシティを高めます。
- 取締役会の過半数を社外とし、既存の価値観やビジネスモデルにとらわれず、多面的かつ客観的な視点で、会社や地域の成長に資する戦略かどうかの議論を活発化させ、スピード感をもって意思決定を行ってまいります。

(2) 「ユニット制」の導入

- ・ 取締役会のダイバーシティを高めることにより従来より多彩な意思決定が行われ、その執行への監督機能にも重点が置かれた体制となることから、実行部隊である執行ラインの強化を図ってまいります。
- ・ 今回の改正においては、現状のミッションにおいてマネジメント手法の異なるビジネスモデルごとに2つのユニットを設置いたします。

〔設置するユニット〕

- 地域共創ユニット…地域の社会課題を解決する地域エコシステムを地域を巻き込みながら次々と生み出すモデルを、スピードを上げて探索し価値を確立していくユニット
- 金融ユニット…従来の銀行機能を軸として徹底的な顧客代理・顧客最適化の観点からお客さまにとってより高付加価値で便利な金融モデルに SHINKA（進化・深化）させていくユニット

(3) イノベーション投資戦略事業本部の設置

- ・ 地域共創ユニットと金融ユニットを繋ぐプラットフォーム部門を統括する「イノベーション投資戦略事業本部」を設置します。
- ・ 同事業本部においては、金融ユニットの持つ経営基盤である地元ネットワークや統合データベースを活用したDX（デジタル・トランスフォーメーション）、事業性評価を基礎としたエクイティ投資ノウハウの活用により、グループ企業価値の向上を図ってまいります。

(4) コーポレートスタッフ部門の設置

- ・ 2ユニットおよびイノベーション投資戦略事業本部に共通するミドルバック機能を担うコーポレートスタッフ部門を設置します。

(5) 「チーフオフィサー（CxO）制度」の導入

- ・ チーフオフィサー（CxO）制度を導入し、グループCEOの全体統括のもと、所管分野の責任者としてチーフオフィサーを配置します。

〔配置するチーフオフィサー〕

CEO…グループ最高経営責任者

COO…グループ最高執行責任者・ユニット最高執行責任者

CSO…グループ最高戦略責任者

CIO…グループ最高イノベーション／情報・データ／投資戦略責任者

3. 実施日

2020年6月25日（木）

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

山口フィナンシャルグループ 経営管理部 渡部・井口

TEL：083-223-7120